

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

SDS ID 番号 : 00005

Never-Seez High Temp Stainless,, Nuclear Certified

Bostik Inc. (製造者)

製造者全面改訂 2000 年 03 月 17 日

製造者部分改訂 2025 年 2 月 21 日

輸入者部分改訂 2026 年 2 月 24 日

安全データシート(SDS)は、当該品の製造元である米国 Bostik 社製作 SDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。
Bostik 社 SDS は米国および欧州の SDS 作成指針に基づいて作成されている。 < > 部分は本邦に於ける最新 SDS 作成指針 (JISZ 7253) に基づき弊社が必要と判断し追加記載したものである。

SECTION 1 - 製品 及び 会社情報

製品名 : NEVER-SEEZ Hi-Temp Stainless Nuclear Grade
(ネバーシーズ高温ステンレス原子力グレード)
化学族 : 焼付き防止・潤滑剤
当該 SDS 対象商品 : NGSS-160NF

製造会社 : Bostik Inc. 米国 マサチューセッツ州
輸入者 : 極東貿易株式会社 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 7 階
Tel 080-5896-5702

SECTION 2 - 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

皮膚感作性 区分 1

発がん性 区分 2

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1

他に分類されない危険有害性 (HNOC)

該当なし

2.2. ラベル要素

危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

発がん性の疑い

外観 : 非常に粘稠である

物理的状態 : 固体

臭い : 石油臭



GHS ラベル要素絵表示又はシンボル

注意喚起：危険

予防

使用前に特別な指示を受けてください

すべての安全上の注意を読み、理解するまで取り扱わないでください

保護手袋／保護服／保護眼鏡／保護面を着用してください

汚染された作業衣は作業場から持ち出さないでください

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください

取り扱った後は、顔、手、および露出した皮膚をよく洗ってください

この製品を使用する間は、飲食または喫煙しないでください

対応

暴露または懸念がある場合：医師の診察/手当を受けてください

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗い流してください

皮膚に刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当を受けてください

汚染された部分を洗い流してください再使用前に衣類を洗ってください

保管上の注意

施錠して保管してください

廃棄上の注意

内容物／容器は認可された廃棄物処理施設に廃棄してください

2.3. その他の情報

情報なし

SECTION 3 - 組成、成分情報 <対象成分 及び 被爆限界情報>

<単一製品・混合物の区分> : 混合物

<化学名又は一般名> : 鉍油等の混和物、焼付き防止・潤滑剤

成分名	CAS 番号	重量%
石油留分、水素化処理軽質パラフィン (IP346 <3% DMSO)	64742-55-8	30 - 60%
グラファイト	7782-42-5	10 - 30%
クロム	7440-47-3	1 <5%
ニッケル	7440-02-0	1 <5%

正確な配合割合（濃度）は企業秘密として公表されていません

付記： ニッケル、クロムはステンレス粉末 316L に含まれるものです。

PRTR 法	ニッケル	(第1種指定化学物質 政令番号 1-231)
	クロム	(第1種指定化学物質 政令番号 1-69)

労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物 ニッケル、クロム
毒物劇物取締法 対象はなし

SECTION 4 - 応急処置

4.1. 応急処置の説明

一般的なアドバイス：この安全データシートを医師に提示してください。

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動してください。症状が続く場合は、医師に連絡してください。

眼に入った場合：まぶたの裏側も含めて、多量の水で十分に洗い流してください。コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外してください。洗い流し続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受けてください。

皮膚に付着した場合：石鹸と水で洗ってください。アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性があります。皮膚刺激またはアレルギー反応の場合は、医師の診察を受けてください。

摂取した場合：口をすすいでください。意識のない人には、決して口から何も与えないでください。嘔吐を誘発しないでください。直ちに医師または中毒情報センターに連絡してください。応急処置を行う者の自己保護：医療従事者が、関係する物質を認識し、自分自身の安全を確保し、汚染の拡散を防ぐための予防措置を講じていることを確認してください。皮膚との直接接触を避けてください。口対口人工呼吸を行う際は、バリアを使用してください。必要に応じて個人用保護具を使用してください。

4.2. 最も重要な症状および影響（急性および遅発性）

症状：かゆみ、発疹、じんましん。曝露の影響：情報なし。4.3. 緊急の医師の診断および特別な治療の必要性：医師への注意：感受性の高い人では感作を引き起こす可能性があります。皮膚接触により感作を引き起こす可能性があります。症状に応じて治療してください。

SECTION 5 - 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、または通常の泡消火剤。大規模火災：注意：消火活動において水噴霧の使用は効果的でない場合があります。不適切な消火剤：高圧水流で漏洩物を飛散させないでください。

5.2. 物質または混合物に起因する特別な危険性

化学物質に起因する特別な危険性：情報なし。

危険な燃焼生成物：酸化亜鉛。硫黄酸化物。爆発データ

機械的衝撃に対する感受性：なし。

静電気放電に対する感受性：なし。

5.3. 消火をする方へのアドバイス

特別な保護具および消火をする方のための注意事項

他の火災と同様に、自給式呼吸器（圧力式）、MSHA/NIOSH（承認済みまたは同等のもの）、および完全な保護具を着用してください。

SECTION 6 - 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項：必要に応じて個人用保護具を使用してください。十分な換気を確保してください。取り扱った後は、十分に手を洗ってください。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項：水路、下水道、地下室、または密閉区域への流入を防止してください。環境中に放出してはいけません。環境に関する追加情報については、セクション 12 を参照してください。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び資材

封じ込めの方法：安全が確保できる場合は、さらなる漏洩または流出を防止してください。浄化の方法：必要に応じて個人用保護具を使用してください。不活性吸収材（例：砂、シリカゲル、酸性結合剤、万能結合剤、おがくず）で吸収させてください。機械的に回収し、適切な容器に廃棄してください。製品が排水溝に流入するのを防ぎ、汚染された表面を徹底的に洗浄してください。他のセクションへの参照：詳細についてはセクション 8 を参照してください。詳細についてはセクション 13 を参照してください。

SECTION 7 - 取り扱い及び管理上の注意

7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

安全な取り扱いに関するアドバイス：必要に応じて個人用保護具を使用してください。適切な産業衛生および安全基準に従って取り扱ってください。

本製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないでください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。取り扱った後は、十分に洗ってください。

7.2. 安全な保管条件

保管条件：容器をしっかりと閉め、乾燥した換気の良い場所に保管してください。

7.3 他のセクションへの参照

他のセクションへの参照：セクション 10：安定性および反応性

セクション 13：廃棄上の注意

SECTION 8 - 暴露管理

8.1. 管理パラメータ

暴露限界：本製品には、原料の状態では粉末状の物質が含まれていますが、本製品中では吸入できない形状になっています。本製品への暴露によって粉末/粉塵粒子を吸入する可能性は低いと考えられます。

管理濃度、許容濃度

成分	ACGIH TLV	OSHA PEL	NIOSH IDLH
黒鉛	2mg/m ³ (繊維を除くもの)	15mg/m ³ 合成粉末 5mg/m ³ 呼吸性留分粉末	1,250mg/m ³ 2.5mg/m ³ 呼吸性粉塵
ニッケル	1.5mg/m ³	1mg/m ³	10mg/m ³ TWA 0.015mg/m ³
クロム	0.5mg/m ³	1mg/m ³	250mg/m ³ TWA 0.5mg/m ³

8.2. 暴露管理

適切な工学的管理、シャワー、洗眼装置、換気システム

個人用保護具などの個人用保護具

眼／顔面の保護具 サイドシールド付き安全メガネ(またはゴーグル)を着用してください。

手の保護具 適切な手袋を着用してください。皮膚および身体の保護具 適切な保護衣を着用してください。呼吸器の保護具 換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用してください。一般的な衛生上の考慮事項 適切な手袋および眼／顔面の保護具を着用してくだ

さい。適切な産業衛生および安全慣行に従って取り扱ってください。
本製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないでください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。取り扱った後は十分に洗ってください。機器、作業場、および衣類の定期的な清掃が推奨されます。

SECTION 9 - 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状态：固体
外観：非常に粘稠
色：灰色
臭い：石油臭
臭いの閾値：情報なし
特性値： 備考方法
PH：データなし 該当なし 水に不溶
PH（水溶液）： データなし 既知なし
融点/凝固点：データなし 既知なし
初留点および沸点範囲：データなし 既知なし
引火点：150°C以上/302° F以下
蒸発速度：データなし 既知なし
可燃性：データなし 既知なし
空気中の可燃限界：データなし
可燃性または爆発性の上限界：データなし
可燃性または爆発性の下限界：データなし
蒸気圧：データなし 既知ではない
相対蒸気密度：データなし 既知ではない
相対密度：データなし 既知ではない
水への溶解度：水に不溶 なし既知
溶解度 データなし 既知なし
分配係数 データなし 既知なし
自然発火温度 データなし 既知なし
分解温度 データなし 既知なし
動粘度係数 データなし 既知なし
粘度係数 データなし 既知なし

9.2. その他の情報

爆発性 情報なし
酸化性 情報なし
溶剤含有量 (%) 情報なし
固形分含有量 (%) 100.0
軟化点 情報なし
分子量 情報なし
VOC 含有量 情報なし 情報なし
液体密度 1.19 g/cm³ 嵩密度 情報なし

SECTION 10 - 安定性および反応性

10.1. 反応性：情報なし。

- 10.2. 化学的安定性：通常の条件下では安定。
 10.3. 危険有害反応の可能性：通常の工程では発生しない。
 10.4. 避けるべき条件：極端な温度および直射日光。
 10.5. 混触危険物質：提供された情報に基づく、特に記載されていない。
 10.6. 危険有害性分解生成物：提供された情報に基づく、特に記載されていない。

SECTION 11 - 毒性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

吸入：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼接触：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚接触：当該物質または混合物に関する具体的な試験データは入手できない。

皮膚接触により感作を引き起こす可能性がある。反復または長期の皮膚接触は、感受性の高い人にアレルギー反応を引き起こす可能性がある（成分に基づく）。反復曝露は、皮膚の乾燥やひび割れを引き起こす可能性がある。

経口摂取：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。物理的、化学的および毒物学的特性に関連する症状

症状：かゆみ、発疹、じんましん。急性毒性

毒性の数値的尺度

以下の値は、GHS 文書の第 3.1 章に基づいて算出されています。

ATEmix（経口）>5000 mg/kg

ATEmix（経皮）>5000 mg/kg

ATEmix（吸入ガス）>20000 ppm

ATEmix（吸入粉塵/ミスト）>5 mg/l

ATEmix（吸入蒸気）>20 mg/l

成分	LD50, 経口	LD50, 皮膚	LC50, 吸入
クロム	>5000mg/kg(Rat)	—	4h>5.41mg/L(Rat)
ニッケル	>9000mg/kg(Rat)	—	>10.2mg/L(Rat)1h
黒鉛	—	—	>2000 mg/m3

石油蒸留物、水素化軽質パラフィン

(IP346 <3% DMSO)

LD50 > 5000 mg/kg LD50 > 5000 mg/kg OECD 402 3900 mg/m3

短期および長期の暴露による遅延性、即時性、ならびに慢性的な影響

皮膚腐食性/刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

重篤な眼損傷/眼刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

呼吸器感作性または皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性があります。

生殖細胞変異原性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

発がん性 成分に関する入手可能なデータに基づき分類しています。既知または疑わしい発がん性物質を含有しています。発がん性の疑いがあります。IP 346 で測定した DMSO 抽出物が 3%未満の鉱油を含む製品。以下の表は、各機関が成分を発がん性物質としてリストしているかどうかを示しています。

化学名	ACGIH	IARC	NTP	OSHA
-----	-------	------	-----	------

水素化処理軽質石油留分

パラフィン系 (IP346 <3%DMSO)

	A2	グループ 1	既知	X
クロム	—	グループ 3	—	—
ニッケル	—	グループ 2	既知	X

ACGIH (米国産業衛生専門家会議)

A2 - ヒトに対する発がん性が疑われる物質

IARC (国際がん研究機関)

グループ 1 - ヒトに対して発がん性がある

グループ 2B - ヒトに対しておそらく発がん性がある

グループ 3 - ヒトに対する発がん性は分類できない

NTP (米国国家毒性プログラム)

既知 - 既知発がん性物質 合理的に予測される - ヒトに対する発がん性があると合理的に予測される 米国労働省労働安全衛生局

X - 存在する

生殖毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回暴露 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復暴露 長期または反復暴露により臓器に障害を引き起こします。

吸引性呼吸器有害性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

その他の有害影響 情報なし。

相互作用影響 情報なし。

SECTION 12 - 環境影響情報

12.1 毒性

毒性	藻	魚	甲殻
ニッケル	EC50 96H0.174-0.311mg/l	LC50 96H=10.4mg/l	EC50 48H=1mg/l
黒鉛	—	LC50(96HR)>100mg/l	—
石油蒸留物、水素化処理軽質パラフィン系 (IP346 <3%DMSO)	—	LC50: >5000mg/L (96H)	EC50: >1000mg/L (48h)

12.2. 残留性および分解性: 情報なし。

12.3. 生体蓄積性: この製品に関するデータはありません。

12.4. 土壌中の移動性: 移動性 情報なし。

その他の有害影響 情報なし

SECTION 13 - 廃棄上の注意

<焼却処理する。Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。又、Section 5 火災時処置 および Section 10 危険性情報を参照のこと。>

国及び地方自治体のすべての法規に準じて廃棄すること。国及び地方自治体の要求は地域により大きく異なる場合がある。

SECTION 14 - 運送上の注意

<注意事項: Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。>

<国連分類： 当該品は危険物質として規制されない。>

<国内規制： 消防法、毒劇物取締法、航空法、船舶安全法、港則法などの輸送規定には該当しない。>

米国 DOT/TDG 及び/IATA に於ける輸送規定： 当該品は危険物質として規制されない。

海上輸送に関する IMDG 分類： 当該品は危険物質として規制されない。

SECTION 15 - その他の法律

日本：

<消防法> : 非危険物

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> : 該当せず

<労働安全衛生法> : 第 57 条の 1 名称表示すべき有害物質 (ニッケル、クロム)
有機溶剤中毒予防規定 (該当なし)

第 57 条の 2 第 1 項 SDS の対象となる化学物質

クロム(別表 9-142)

ニッケル(別表 9-418)

<廃棄物処理法> : 一般産業廃棄物

<P R T R 法> : 第 1 種指定化学物質 (ニッケル 政令番号 1-231)
(クロム 政令番号 1-69)

第 2 種指定化学物質 (該当なし)

<水質汚濁防止法> ニッケル、クロム

その他

国際インベントリー

TSCA 準拠

DSL 準拠

TSCA - 米国有害物質規制法第 8 条(b)インベントリー

DSL - カナダ国内物質リスト

準拠 - 本製品の成分は、インベントリーに掲載されているか、掲載が免除されています。

有効成分が掲載対象外 - 本製品の 1 つ以上の成分がインベントリーに掲載されていません。

米国連邦規制

SARA 313

1986 年スーパーファンド改正・再授權法 (SARA) 第 3 編第 313 条。本製品には、同法および連邦規則集第 40 編第 372 条の報告要件の対象となる化学物質が含まれています。化学名 CAS 番号 SARA 313 - 閾値% クロム 7440-47-3 1.0

ニッケル 7440-02-0 0.1

SARA 311/312 危険有害性区分

本製品が 40 CFR 370 の EPCRA 311/312 Tier 報告基準を満たす場合は、適切な分類については本 SDS のセクション 2 を参照してください。

SECTION 16 - その他情報

重要注意事項：

ここにある全ての記載事項、技術情報及び推薦項目は Bostik が信頼出来ると判断した情報ないし試験に基づいている。しかしながら、Bostik はこれらの正確性ないし完全性について保証はできない。従って当該品の購入者は使用前に独自にテストを実施して適切な技術上の準備の取り決めと使用目的への適応性を見極めるべきである。Bostik の当該品販売は Bostik の注文請書に記載される取引条件に限定される。

要約すると、Bostik が保証するのは、当該品が当該品仕様書に合致しており、正規に使用されれば欠陥がないということである。この保証に反して欠陥が生じた場合の Bostik の唯一の責務は製品の交換である。Bostik は上記に言う交換を除き、直接的、間接的、経済的ないしその他一切の損害に対しては責任を負わない。

諸規制情報

米国規制

カリフォルニア州 65

1986 年カリフォルニア州安全飲料水及び有害物質施行法（Proposition 65）およびその改正案に定義されている物質

本製品に含まれることが知られているカリフォルニア州 65 リストに記載されている物質のリストは、参考情報としてのみ提供されています。

発効日：2025 年 3 月 1 日（日/月/年）

化学名：カリフォルニア州 65

ニッケル

7440-02-0

発がん性物質

米国州の知る権利に関する規制

本製品には、州の知る権利に関する規制によって規制されている物質が含まれている場合があります。化学名 米国 - メイン州 - 高懸念化学物質

マサチューセッツ州 ニュージャージー州 ペンシルベニア州 米国 - ワシントン州 - 子どもに安全な製品に関する報告規則 - 子どもにとって高懸念の化学物質(CHCC)

石油留分、水素化処理軽質パラフィン

(IP346 <3% DMSO)

64742-55-8

X	X	X
---	---	---

グラファイト

7782-42-5

X	X	X
---	---	---

アルミニウム

7429-90-5

X	X	X
---	---	---

ニッケル

7440-02-0

X	X	X
---	---	---

EPA TSCA 第 6 条(h)（難分解性、生体蓄積性、毒性（PBT）化学物質）

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、本製品はデカブロモジフェニル(CAS番号:1163-19-5)、フェノールイソプロピル化リン酸(3:1)(PIP(3:1))(CAS番号:68937-41-7)、2,4,6-トリス(tert-ブチル)フェノール(2,4,6-TTBP)(CAS番号:732-26-3)、ヘキサクロロブタジエン(HCBD)(CAS番号:87-68-3)、またはペンタクロロチオフェノール(PCTP)(CAS番号:133-49-3)についてスクリーニング検査を受けています。

EPA TSCA 第6条(h)(難分解性、生体蓄積性、および毒性(PBT)化学物質)該当なし

CONEG モデル毒性物質包装

包装における有害物質に関するモデル法(CONEGとも呼ばれる)は、包装または包装部品(包装に使用される印刷インクを含む)における特定の有害物質の使用に関する規制であり、製品中に含まれる鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの偶発濃度レベルの合計を、重量比で100ppm以下に制限しています。

最終製品の成分組成を調査した結果、本製品には報告閾値である100ppm以上のCONEG物質が含まれていることは確認されていません。

国際規制

グローバルインベントリー

AIIC 準拠

DSL 準拠

ENCS 準拠

IECSC 準拠

KECL 準拠

PICCS 準拠

NZIoC 準拠

TCSI 準拠

TSCA 準拠

準拠 - この製品のコンポーネントは、在庫リストに掲載されているか、在庫リストへの掲載が免除されています。

未記載 - この製品の1つ以上のコンポーネントが在庫リストに記載されていません。

AIIC - オーストラリア工業化学物質インベントリー、NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー、DSL - カナダ国内物質リスト、PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー、ENCS - 日本既存化学物質・新規化学物質、TCSI - 台湾化学物質インベントリー

IECSC - 中国既存化学物質インベントリー、TSCA - 米国毒性物質規制法第8条(b)インベントリー

KECL - 韓国既存化学物質インベントリー

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書

該当なし

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、当社は本製品の製造中に残留性有機汚染物質(POPs)に分類される物質を故意に添加しておらず、またサプライヤーもこれらの物質が製品に含まれていることを報告をうけておりません。

ロッテルダム条約
該当なし

欧州連合

化学物質の登録、評価、認可、および制限に関する規則 (REACH 規則、EC 1907/2006)

SVHC : 認可対象候補物質 (SVHC) :

本製品には、0.1%以上の濃度で SVHC 候補物質は含まれていません (REACH 規則 (EC) No. 1907/2006、第 59 条)。この宣言は、サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づいています。発効日 : 2025 年 11 月 5 日 (日/月/年)

REACH 規則附属書 XIV に基づく認可対象物質

本製品には、認可対象物質 (規則(EC) No. 1907/2006 (REACH)、附属書 XIV) は含まれていません。

EU-REACH (1907/2006) - 附属書 XVII - 制限対象物質

本製品には、制限対象物質 (規則(EC) No. 1907/2006 (REACH)、附属書 XVII) が 1 つ以上含まれています。化学名 CAS 番号 REACH 附属書 XVII に基づく制限物質
ニッケル 7440-02-0 27、75

27 直接または長期間の皮膚接触を意図する製品には使用しないでください

有害物質の使用制限 (RoHS) - EU

指令 2011/65/EU および現行の改正 (指令 2015/863 を含む) で定義されている電気電子機器における特定の有害物質の使用に関する制限

RoHS 対象物質 (およびその報告閾値) は、鉛 (0.1%)、水銀 (0.1%)、カドミウム (0.01%)、六価クロム (0.1%)、ポリ臭化ビフェニル (PBB) (0.1%)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) (0.1%)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP) です。 (0.1%)、ブチルベンジルフタレート (BBP) (0.1%)、ジブチルフタレート (DBP) (0.1%)、ジイソブチルフタレート (DIBP) (0.1%)。最終製品の組成を調査した結果、上記の報告に含まれる RoHS 指令対象物質は確認されていません。

物質関連情報

天然ラテックス

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

天然ゴムラテックス (CAS 番号 9004-04-6)

天然ラテックス 含まれていません

スチレン

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

スチレン 含まれていません

ホルムアルデヒド

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

ホルムアルデヒド (CAS 番号 50-00-0)

ホルムアルデヒド 含まれていません

ビスフェノール A

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

ビスフェノール A 含まれていません

フタル酸エステル

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下のフタル酸エステルについてスクリーニングされています。DINP - フタル酸ジイソノニル (CAS 番号 28553-12-0 および 68515-48-0)、DEHP - フタル酸ジエチルヘキシル (CAS 番号 117-81-7)、DBP - フタル酸ジブチル (CAS 番号 84-74-2)、DIDP - フタル酸ジイソデシル (CAS 番号 26761-40-0 および 68515-49-1)、DNOP - フタル酸ジ-n-オクチル (CAS 番号 117-84-0)、BBP - フタル酸ブチルベンジル (CAS 番号 85-68-7)、DMP - フタル酸ジメチル (CAS 番号 131-11-3)、DEP - フタル酸ジエチル (CAS 番号 84-66-2)、および DIBP - フタル酸ジイソブチル (CAS 番号 84-69-5)

フタル酸エステル 存在しません

BTEX 化学物質：存在しません。

重金属

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、本製品は以下の重金属について検査されています：鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、カドミウム (Cd)、六価クロム (Cr 6+)、アンチモン (Sb)、ヒ素 (As)、バリウム (Ba)、ニッケル (Ni)、セレン (Se)。

重金属：存在します

化学名 重金属 CAS 番号重量% ニッケル Ni 7440-02-0 10-30

GADSL

世界自動車申告対象物質リスト (Global Automotive Declarable Substances List) は、販売時点で車両または部品に残留する材料または部品に含まれることが予想される物質を網羅しています。

IMDS ポータル経由での提出をご希望の場合は、担当者にお問い合わせください。

ILFI - レッドリスト化学物質

国際リビングフューチャー研究所 (ILFI) は、「レッドリスト」物質を開発しました。リビングビルディングチャレンジの認証要件を満たすことを希望する建設業者は、建設資材に「レッドリスト」に掲載されている物質が 100ppm を超えて含まれていないことを確認する必要があります。 <https://living-future.org/lbc/red-list/#red-list-and-watch-list-casrn-guide>

発効日：2024年8月

製品組成の調査に基づき、本製品には、報告閾値を超える ILFI レッドリスト化学物質として特定された物質が含まれています。

化学名：	Living Future Institute	重量%	Living Future Institute
石油留出物、水素化処理軽質パラフィン (IP346 <3% DMSO)		30-<60%	優先リスト
64742-55-8			

コーシャ：ボスティック社は、コーシャ認証製品を提供していません。

ハラール：ボスティック社は、ハラール認証製品を提供していません。

アレルギー詳細については、ボスティック社担当者までお問い合わせください。

BSE/TSE フリー (動物由来のみ)

詳細については、Bostik の担当者までお問い合わせください。

GMO フリー (動物/植物由来)

詳細については、Bostik の担当者までお問い合わせください

以上